

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
 ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

東和医療圏における東部地域は、山間部に位置し、面積も広範囲にわたり、移動に時間を要するなど、交通の便が良くない地域が点在しています。

一方、宇陀市立病院におきましては、宇陀市によります奈良医大への寄附講座により令和元年4月に消化器内科医師2名が赴任していただき、令和元年10月には総合診療科医師2名が増員となり、地域医療部を開設いたしました。

現在、地域医療部内に地域連携課を包括し、

- ・ 地域連携課の前方・後方支援の強化
- ・ 在宅医療・訪問リハビリの展開
- ・ へき地医療の支援 を行っています。

このような状況の中、当院は宇陀市民以外にも曾爾村・御杖村・東吉野村・奈良市・都祁など市外の患者も幅広く受け入れ、東部中山間地域全般の医療を広く担っていることを考えています。

以上のような状況のもと、今後、当院が地域において担う具体的な役割を挙げますと、

1) 中山間地域の中核的二次医療機関として、軽症急性期医療、回復期医療を中心に質の高い医療を提供する役割です。

(→ 当院では、既に地域包括ケア病棟2病棟87床を運営しており、急性期機能と回復期機能のバランスに配慮した病院運営を行っています。)

2) 開業医が少ない当地では、地域唯一の公的病院として「めんどろみみ病院」として、一次医療機関の機能とともに「地域包括ケアシステム」における、基幹病院としての役割をも果たさなければなりません。

3) 二次救急医療を担う輪番制病院としての役割もあります。

4) へき地医療を支援する病院として、市内及び周辺地域に対し診療支援を行う役割も果たしていきます。

(→現在、室生東里診療所、室生田口診療所、御杖村診療所、奈良市都祁診療所、菟田野辻村病院への医師派遣を行っています。)

5) 在宅医療の充実です。

当地では在宅医療を担う開業医が減少、高齢化しており、将来、病院勤務医が在宅医療の一部を担わなければならないようになってきています。令和元年10月より地域医療部による在宅医療が本格的に始まりましたが、今後、訪問リハビリの充実を図ってまいります。特に令和元年6月より本格稼働いたしました「宇陀地域医療介護連携ICTの『宇陀ケアネット』」を有効活用し在宅医療の充実を図っていきいたいと考えています。

宇陀市立病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

6) 健診事業や健康教室の開催等、市民の健康や医療に対する意識を啓発する役割も担ってまいります。

7) 上記、地域密着型医療に加え、当院の強みである整形外科を中心とした専門医療（奈良厚労センター・骨粗鬆症外来等）を広域に展開する、専門併設型地域包括ケアシステム支援病院を目指しています。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は協小する役割・機能ができず明らかなるようご説明ください。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようご説明ください。

1) 済生会中和病院との役割分担につきまして、当院では治療困難ながん治療、消化器手術、呼吸器手術が必要な患者さんについては済生会中和病院様の消化器手術センター、呼吸器外科センター等との病病連携を密にしています。

済生会中和病院様で急性期を加療いただいた患者様のポストアキユート治療にしましては、宇陀市立病院の地域包括ケア病棟を受け皿として利用していただき、桜井地区・宇陀地区の地域包括ケアシステムの充実を図っていきたくと考えています。

救急医療に関しては、平成31年3月に締結しました「宇陀市立病院・済生会中和病院連携協議会」の「医療連携部会」を活用し、桜井地区・宇陀地区の救急患者様のスムーズな搬送連携体制を構築できればと考えています。

人材育成（教育、研修）に関しましては、「宇陀市立病院・済生会中和病院連携協議会」の「研修・安全部会」を活用し、済生会中和病院様の充実した研修体制を参考にさせていただきます。済生会中和病院様とともに人材育成に努めていきたくと考えています。

また、宇陀地域医療連携ICTの「宇陀けあネット」には済生会中和病院様、辻村病院様にも加入していただき、病病連携のICTネットワークが構築されつつあります。

済生会中和病院様には入院患者を含め多くの宇陀地区の患者様がお世話になっております。今後、済生会中和病院様へ入院・通院されている宇陀地域周辺にお住まいの患者様が在宅医療を希望されましたら、「宇陀けあネット」の医療介護情報を有効活用し、宇陀市立病院より在宅サービス提供できるように、済生会中和病院様との連携を図っていきたくと考えています。

また、宇陀地域医療連携ICTの「宇陀けあネット」には済生会中和病院様、辻村病院様にも加入していただき、病病連携のICTネットワークが構築されつつあります。

済生会中和病院様には入院患者を含め多くの宇陀地区の患者様がお世話になっております。今後、済生会中和病院様へ入院・通院されている宇陀地域周辺にお住まいの患者様が在宅医療を希望されましたら、「宇陀けあネット」の医療介護情報を有効活用し、宇陀市立病院より在宅サービス提供できるように、済生会中和病院様との連携を図っていきたくと考えています。

2) 辻村病院との役割分担につきまして、

辻村病院様との連携をさらに密にして、当院で急性期医療を受けられた、菟田野地区・東吉野村等、辻村病院様周囲にお住いの患者様のポストアキユート入院ならびに外来診療をお願いさせていただきたく思っています。

また、辻村病院様で加療されている患者様の容態が増悪した場合、宇陀市立病院で対応可能な場合はできる限りの受け入れをさせていただきます、容態が改善すればま

た、辻村病院へ帰っていただけたらよいような連携体制を構築させていただきたいと考えています。

既に充実した在宅医療を展開されている辻村病院様と連携し、「施設搬送型・在宅療養支援病院」として地域医療貢献を図っていきたくと考えています。

3) 以前より、積極的に在宅医療に取り組みされている「加藤クリニック」の加藤久和院長と連携し、在宅医療の質向上に努めてまいります。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください。

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

機能	＜H28年度＞		＜R3年度＞		＜R7年度＞		(b-a) (R7/2025年度) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数	(R7/2025年度)	H28年度からの増減	
一般病棟	高度急性期						
	急性期	重症	89	44	42	89	0
	急性期	軽症		45	44		0
	回復期		87	87	87	87	0
	慢性期						0
療養病床	休養中 (今後再開する予定)						0
	休養中 (今後廃止する予定)						0
	(合計)	176	176	173	176	176	0
精神病床							0
介護医療院							0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の項の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。
 ※連携指図については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 手術の実施 肺、呼吸器 はい いいえ
- 化学療法の実施 消化器 はい いいえ
- 放射線治療の実施 泌尿器、生殖系 はい いいえ
- 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院：地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 はい いいえ
- 心疾患に対する外科手術の実施 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 はい いいえ
- 脳動脈クリッピング術 はい いいえ
- 閉頭血腫除去術 はい いいえ
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 はい いいえ
- 血栓除去術等の脳血管内手術 はい いいえ
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 はい いいえ
- 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 はい いいえ
- 病院群輪番制への参加 はい いいえ
- 小児科病院二次輪番体制への参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ はい いいえ
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数= 有り 無し）
- 訪問リハビリの実施 はい いいえ
- 通所リハビリの実施 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 無し
 - ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえ「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMA T指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

へき地医療拠点病院の申請を行っており、令和4年度より移動診療車による診療を実施予定である。

⑪医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑫新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- 宇陀市南部、東部、東吉野村住民のかかりつけ医機能
- 上記地域の高齢者医療、在宅医療
- 宇陀市、東吉野村、桜井市住民の療養病院としての役割
- 在宅、介護施設との間でのスムーズな入退院機能
- 摂食・嚥下障害患者のリハビリテーション

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において病院が相補しない又は縮小する役割・機能ができるときは明ららかに becoming ようご説明ください。

- 急性期病院からの転院（療養・在宅復帰）希望者の受け入れ
- 軽症内科急性期以外の急性期患者の受け入れは縮小

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明ららかに becoming ようご説明ください。

令和元年より県の事業を通じて、天理よろづ相談所病院との関係づくりを行った。地域連携センターを通じて、これまであまり連携の図れていなかった病院や周辺施設との関係づくりを深めていきたい。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

辻村病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度> (a)許可病床数		<R3年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	急性期	重症 軽症	急性期	重症 軽症		
一般病床			26	26	0	0
療養病床			40	40	0	0
					26	0
					40	0
						0
						0
			66	66	66	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
(注1) 最大使用病床数
・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は添紙、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	乳腺	泌尿器、生殖器
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	
対応予定なし		

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	対応している	
対応予定なし		

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・連携強化、機能強化等）について記入してください。

対応予定なし

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・連携強化、機能強化等）について記入してください。

現状の役割を継続

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- 訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- 通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・連携強化、機能強化等）について記入してください。

訪問リハビリの拡大を検討中

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- 在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・連携強化、機能強化等）について記入してください。

訪問リハビリ、訪問栄養指導の拡大を検討中

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・連携強化、機能強化等）について記入してください。

みなし訪問看護ステーションの開設を検討中

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・連携強化、機能強化等）について記入してください。

現状の取り組みを継続

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次検査体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 対応予定なし

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 対応予定なし

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 現状の対応を継続

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 現状の対応を継続

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 対応予定なし

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 現状の対応を継続

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について済生会中和病院は、「地域の医療と福祉を支える済生会」を基本理念に、東和医療圏の地域中核病院（地域医療支援病院）として活動している。当院は東和医療圏の中でも、横井市・宇陀市等を中心とする南・東部地域の住民に対し急性期医療とケアミックス医療を提供しており、東和医療圏の高齢化率が 2025 年には 33% まで上昇することが予測されるなか、地域の医療ニーズが求める体制を充実させている状況である。

このような医療環境のもとで、当院は、次のような役割を担うべきと考えている。

- 1 宇陀市立病院と連携し、今後開業医の高齢化に伴う医療資源の不足が懸念される東和医療圏東部の宇陀市・宇陀郡地域の医療提供体制の確保を図る。
- 2 当院は、地域医療支援病院及び在宅療養後方支援病院として認定されており、地域の診療所では対応が困難な専門的医療や高度な検査、手術を行う急性期医療提供体制を整備し、急性期医療における地域完結医療の充実に取り組んでいる。また、奈良県地域がん診療連携支援病院として、既設の乳腺外科、前立腺外来、放射線治療等の充実を図るとともに、令和元年 8 月に消化器センターと呼吸器センターを設置しがん診療の集学的治療体制を整備した。救急医療提供についても積極的に取り組み、総合診療科（平成 28 年 8 月設置）を中心に、救急受入率の向上を図り、地域の救急医療の担い手としての役割を果たしている。更に、地域における近隣病院との機能分化と連携（病・病連携）を進め、効率的な医療提供体制に取り組んでいる。
- 3 急性期を過ぎた患者さんの円滑な退院支援業務を推進し、地域の診療所、施設、訪問看護ステーションとの連携を深め、患者さんの在宅医療・介護に貢献している。そのため、本院において在宅療養後方支援病院の本格的な運用を開始し、地域における在宅医療の推進を図っている。
- 4 人材の育成が最も大きな役割のひとつである。医療面においては、前述のセンターを中心に、医療の安全と質の向上を図り、専門的知識・技術をもつ人材の育成に取り組んでいく。また医療スタッフ面においては、認定看護師・特定行為看護師等の育成に積極的に取り組んでいる。更に、済生会本部を中心に取り組んでいる「医療・介護連携士」の育成に取り組んでいる。同時に、これらの知識・技術を地域の病院、診療所、施設のスタッフと共有することにより、地域の医療、看護、福祉、福祉の質の向上を図っていききたい。

済生会中和病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和 3 年 1 1 月作成

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は担いにくい役割・機能ができなくなるか、明らかにならないようご説明ください。

当院と宇陀市立病院は地域における適切な医療提供体制を持続的に確保するため密接な医療連携を図ることを目的に、平成31年3月に「医療機能の確保及び連携に関する協定」を締結し、この協定に基づき10月に連携協議会を設置した。「医療連携部会」、「研修・安全部会」、「経営部会」の3つの部会を設け、医療連携の在り方と共に人材育成や経営の効率化に向け協議を進めている。

現在、この協議会を中心に宇陀市および桜井市における病院間の役割分担について検討を進めている。また、当院は、在宅医療は行っておらず、訪問看護ステーションなどの訪問医療・介護は行っていない状況であり、今後当院を退院する患者さんの在宅医療の必要性は高くなるものと考えている。本院において令和元年9月から本格的に運用を開始した在宅療養後方支援病棟の機能を充実し近隣の診療所、施設、訪問看護ステーション等との連携を強化し地域における在宅療養の充実を図ることが重要と考えている。そのためには、近隣の診療所、施設訪問看護ステーション等とICTを用いた連携システムが必要となる。その方策として宇陀地区においては医療介護連携 ICT ネットワークシステム(うだケアネット)に参加し情報共有(医療・介護)システムの充実を図る。また、桜井市、磯城地域を中心に稼働している ICT ネットワークシステム(まほろばネット)についてもうだケアネットとの相互連携を含めた機能強化に向けた検討が必要と考えている。

また、今後周辺の高度急性期病院との連携により急性期の治療を終えた地域の患者さんの受入の強化を図ることも重要と考えている。それによつてはさらに地域包括ケア病棟を充実することを検討する必要があるものと考えている。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにしご説明ください。

当院と宇陀市立病院との間において設置した連携協議会及びその部会である「医療連携部会」「研修・安全部会」「経営部会」の3つの部会により宇陀市及び桜井市における病院間の役割分担について検討を進めていく。

また、奈良医大を中心とする高度急性期病院と協議し機能分担を進めていく。それと共に、地域医療支援病院の規定にある評議員会において、地区医師会、市の行政、各種の施設の意見等を聴取し、地域の医療・介護ニーズに対応していく。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。欄数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7年度>	
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(F7/2025年度)	(b-a)
一般病床	高度急性期	48	56	53	56	8
	急性期		56	96	96	40
療養病床	軽症	108	120	101	120	-48
	回復期	48	48	48	48	0
療養病床	慢性期	0	0	0	0	0
	休養中 (今後再開する予定)	0	0	0	0	0
療養病床	休養中 (今後廃止する予定)	0	0	0	0	0
	(合計)	320	320	298	320	0
精神病床	0	0	0	0	0	0
介護医療院					0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補完、機能廃止等）については記入してください。
 ※連携施設については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を期やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？
 手術の実施 はい いいえ
 化学療法の実施 はい いいえ
 放射線治療の実施 はい いいえ
 拠点病院等の指定 はい いいえ
がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、がん県民がん診療連携支援病院
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補完、機能廃止等）について記入してください。
 既設の乳癌外科、前立腺外科、放射線治療等の充実を図るとともに、令和元年8月に消化器センターと呼吸器センターを設置しがん診療の集学的治療体制を整備し、積極的に対応する。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 はい いいえ
 心疾患に対する外科手術の実施 はい いいえ
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補完、機能廃止等）について記入してください。
 今後、桜井・宇陀地区の状況から、循環器内科の充実を積極的に対応していきたい。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 はい いいえ
 脳動脈クランプ手術 はい いいえ
 開頭血腫除去術 はい いいえ
 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 はい いいえ
 血栓除去術等の脳血管内手術 はい いいえ
 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 はい いいえ
 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 はい いいえ
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補完、機能廃止等）について記入してください。
 積極的に脳卒中患者の受け入れを行い、急性期治療に対応する。脳神経外科不在の際にも、透隔画像診断を用いて対応できる体制を構築している。脳神経外科、神経内科の増員等を含め、脳卒中治療の充実を図ってきたい。

④ 救急医療

当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
 大腿骨折への対応 はい いいえ
 病院群輪番制への参加 はい いいえ
 小児科病院二次輪番体制への参加 はい いいえ
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補完、機能廃止等）について記入してください。
 救急医療提供についても積極的の取組み、総合診療科（平成28年8月設置）を中心に、救急受入率の向上を図り、地域の救急医療の担い手としての役割を果たしたい。

⑤ リハビリ

当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 脳卒中等循環器病への早期リハビリ はい いいえ
 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 はい いいえ
 訪問リハビリの実施 はい いいえ
 通所リハビリの実施 はい いいえ
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補完、機能廃止等）について記入してください。
 リハビリについても、脳卒中等治療の充実とともに積極的に取り組む。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 在宅療養支援病棟の届出の有無 はい いいえ
 在宅療養後方支援病棟の届出の有無 はい いいえ
 訪問リハビリの実施（再掲） はい いいえ
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補完、機能廃止等）について記入してください。
 当院は、地域医療支援病院及び在宅療養後方支援病院として認定されており、地域の診療所では対応が困難な専門的医療や高度な検査、手術を行う急性期医療提供体制を整備し、急性期医療における地域完結医療の充実に取り組んでいる。

⑦ 訪問看護

病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
（はいの場合、施設名称：）
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補完、機能廃止等）について記入してください。
 現在対応していない。

⑧ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか?

定めている 定めていない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

地域包括病床を中心に実施している。今後とも取り組みについて充実させる。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 (再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

東和医療圏を中心に、入院加療が必要なケースに対応していく。また、中南和小児科二次輪番担当病院として役割を担っていく。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・分娩の取扱 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

当院での対応の予定はない。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・EMIS (広域災害救急医療情報システム) への参加 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

東和医療圏の災害拠点病院として役割を担っていく。今後 DMAT 要員の養成等充実に努めていく。

⑫ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

現在対応はしていない。

⑬ 医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

基幹形臨床研修病院として、現在6名の研修医が活躍しており、令和4年度は8名の在籍となる予定である。今後、臨床研修の充実を図りたい。

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか? (重点医療機関か?) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

当院は、発熱外来・ドライブスルー検査・重点医療機関・協力医療機関として新型コロナウイルス感染症の対応を行っている。今後も、この体制を維持し、感染管理の人材の確保等充実していく。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

【回答】

山の辺病院は、1983年の開院以来、救急病院として頑張ってきました。当初は、医療圏を離れた遠方からも救急患者さんが来訪し、「断らない医療」を目標とした、多忙な業務を私自身近くで目の当たりにしてきています。

近年はやや減少していますが、東和地区にお住まいの方々からは、現在も、山の辺病院に救急医療を期待する声は変わらず聞こえてきており、当院としては今後も変わらず、地域の期待に応えてその役割を担っていきと考えています。

又、最近では救急医療後のリハビリテーションにも力を入れ、治療早期からのリハビリの提供を施すことで在宅復帰に向けた取り組みにも力を注いでいます。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

【回答】

以前は、救急医療後に、在宅への退院が難しい患者を少し長く入院して頂いて治療するために、医療療養病床を多く持っていました。近年リハビリテーションに力を注いでいった結果からか、療養病床のニーズが減りました。

そこで、平成27年3月から、療養病床のベッド数を減らして回復期リハビリテーション病棟に転換しています。今後もニーズに合わせた病棟運営を心がけていこうと思っています。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにできるようご説明ください。

【回答】

地域の急性期病院と連携を深めて、救急医療後に早期にリハビリテーションが必要な患者を受け入れる病棟として3階東病棟の病床数を少し増やしました。

又、そういった転院の相談をよりスムーズに動かすために、地域連携室の人員を増やしていく計画を立てています。

※行が定まらない場合は連時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

山の辺病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7/2025年度>	
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(b)将来	(b-a)
一般病床						
高度急性期		0	0	0	0	0
急性期		45	45	34	45	0
軽症		0	0	0	0	0
回復期		52	52	49	52	0
慢性期		20	20	18	20	0
休養中 (今後再開する予定)		0	0		0	0
休養中 (今後廃止する予定)		0	0		0	0
(合計)		117	117	101	117	0
精神病床		0	0	0	0	0
介護医療院					0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は題時、行を割ってください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか? はい
- 手術の実施 肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、生殖器
- 化学療法の実施 対応している 対応していない
- 放射線治療の実施 対応している 対応していない
- 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

現在、そのような計画をもっておりません。
将来、考えることがあるかも知れません。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか? はい
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

現在、そのような計画をもっておりません。
将来、考えることがあるかも知れません。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか? はい
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
現在、そのような計画をもっておりません。
将来、考えることがあるかも知れません。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・救急告示病院の指定を受けているか？
- ・大腿骨折への対応
- ・病院群輪番制への参加
- ・小児科病院二次輪番体制への参加

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、変更については考えていません。

- はい
- はい
- 対応している
- 参加している
- 参加している

- いいえ
- いいえ
- 対応していない
- 参加していない
- 参加していない

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
- ・訪問リハビリの実施
- ・通所リハビリの実施

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、変更については考えていません。

- はい
- 対応している
- 有り（病棟設置）
- 対応している
- 対応している

- いいえ
- 対応していない
- 無し
- 対応していない
- 対応していない

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無
- ・訪問リハビリの実施（再掲）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、変更については考えていません。

- はい
- 有り
- 有り
- 対応している

- いいえ
- 無し
- 無し
- 対応していない

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？
- （はいの場合 施設名称：アツプル）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、変更については考えていません。

- はい
- はい
- アツプル

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、考えていません。

- 定めている
- 定めていない

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・小児入院医療管理料の算定
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、考えていません。

- はい
- している
- している
- 参加している

- いいえ
- していない
- していない
- 参加していない

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能廃止等）について記入してください。
現在、考えていません。

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能廃止等）について記入してください。
現在、考えていません。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ 対応していない
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ 対応していない
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能廃止等）について記入してください。
現在、考えていません。

⑫ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能廃止等）について記入してください。
現在、考えていません。

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ 対応していない
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か） はい いいえ 対応していない
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ 対応していない
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ 対応していない
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ 対応していない
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能廃止等）について記入してください。
変更は現在考えていません。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

・産科婦人科・小児科・眼科については、医師の人員不足が深刻で現時点では現状維持をしてゆく方向で検討している

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができなくなるかぎり明らかなように説明ください。

・内科がなく全身管理の必要性のある患者の受け入れはできない。
・リハビリテーション施設がないため、在宅復帰への支援ができない。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

・医師確保が優先で、現在検討中である。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

桜井病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえ具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

機能	<H28年度>		<R3年度>		最大使用病床数
	(a)許可病床数	41	許可病床数	41	
一般病床	重症	30			
	軽症				
療養病床	回復期				
	慢性期				
	休養中 (今後再開する予定)				
	休養中 (今後廃止する予定)				
	(合計)	41	41	30	
精神病床					
介護医療院					

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？ はい

手術の実施 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、生殖器
化学療法の実施 対応している 対応していない
放射線治療の実施 対応している 対応していない
拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？ はい

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？ はい

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
開頭血腫除去術 対応している 対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病棟二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について基幹病院として二次医療圏のみならず全県的（一部他府県）に高度医療を提供することを第一の使命とする。さらに、軽症急性期であっても複数の疾患があるあるいは該当診療科がない等の理由で他施設では診ることのできない人も受け入れる方針に変わりが無い。

同時に、近隣を含め他病院との連携を推し進め、それぞれの人が病状・病期に応じた医療を適切な場所で受けられるよう援助する。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において病院が担わない又はは細小する役割、機能がでるからざり明らかになるようご説明ください。

複数疾患を持つ人でも、急性期から回復期、慢性期に円滑に移行できるように病院間連携が進むよう力を尽くしたい。特に軽症急性期に関しては、これまで以上に連携が進むことが重要であると認識している。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけざり明らかになるようにご説明ください。

診療科あるいは疾患群ごとに、軽症急性期以後の連携に取り組んでいる。東和地区では白川分院、奈良東病院が先行しているが、隣接二次医療圏とも取組を進めている。また、隣接の三重県上野総合市民病院とは消化器グループの連携に取り組んでいる。今後この充実を第一に掲げて取り组みたい。

また、当院診療各科の上級医師が先方に出向き、入院診療を援助（回診、コンサルテーション）する仕組みを試行している。さらに、在宅機能を関係の白川分院に移し、強化型在宅療養支援病院として白川分院が地域に貢献している。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

天理よろづ相談所病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1～2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	<H28年度>		<R3年度>		<R7(2025年度)>		<(b-a)>	
	(a)許可病床数	345	許可病床数	440	(R7)2025年度	440	H28年度からの増減	95
高度急性期								
急性期	重症	208		89		89		-119
	軽症	143		114		114		-29
回復期								0
慢性期								0
休養中 (今後再開する予定)		119		72		72		-47
休養中 (今後廃止する予定)								0
(合計)		815		715		715		-100
精神病床								0
介護医療院								0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 (注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R2.4.1～R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 手術の実施 はい いいえ
- 化学療法の実施 はい いいえ
- 放射線治療の実施 はい いいえ
- 拠点病院等の指定 はい いいえ

肺、呼吸器 対応している 対応していない

消化器 対応している 対応していない

泌尿器、生殖器 対応している 対応していない

がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

すにてがん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院であり、これら機能を維持・発展させる。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

循環器内科、心臓血管外科が24時間365日対応の体制を作り、ホットラインを通じて心血管疾患の超急性期治療にあたっている。また、待機治療も充実し地域の要請に応えているので、今後もこれらを維持・発展させる。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している 対応していない
- 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

専用のSCU病床が9床(来年度12床に増床予定)あり、脳神経外科、脳神経内科の医師が24時間365日ホットライン対応をし、緊急の血管内治療に対応している。この分野の患者数は今後増加が見込まれるので、さらに充実させ地域医療に貢献する。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

救急指定病院として2次救急まで受入れている。年間の救急車受け入れ台数は県内有数である。外傷、熱傷や3次救急は、人材が確保できれば受け入れ可能になる。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=) 無し
- 訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- 通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

急性期のリハビリ（脳卒中、一般急性期）と心臓リハビリに重点をおいて取り組んでおり、この方針を継続する。回復期への切れ目のない連携に注力する。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- 在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院では行わない。関連施設の白川分院で実施中。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：公益財団法人天理よろづ相談所 白川分院 在宅世話どりセンター）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

関連施設の白川分院で実施中。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

患者のACPを尊重して医療を行う。患者が自身のACPを立てる援助は、その人のかかりつけ医療機関に委ねる。

⑨ 小児医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 小児入院医療管理料の算定 している していない
- 新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在の小児がん診療連携病院、2次輪番病院を維持し、地域医療へ貢献する。

⑩ 周産期医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 分娩の取扱 対応している 対応していない
- ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

分娩取扱は堅持するが、小児科にNICUがないため早産や重症合併症妊婦を他施設へ搬送する方針は今後も変わらない。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

災害派遣医療チームは編成できないが、広域災害時には行政と連携のもとと医療支援を担えるよう検討を進める。

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

新興感染症に手広く対応することは、建屋の構造的問題があるため、すぐには手厚くできない。奈良県内病院の一人として役割を分担する。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院からへき地に直接医師を派遣する計画はないが、地域の基幹病院として支援する。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

初期・後期研修医だけでなく、研修を終えた医師に対しても各人の要望に応える研修の場は提供できる。医師派遣に関しては、時に行政のご指導をいただきつつ、個々の病院と検討する方針に変わりは無い。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか? (重点医療機関か?) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について地域の総合病院として、救急医療を軸とした、高度急性期及び重症急性期病床を運用していくにあたり、脳外科・脳血管内治療・循環器内科を充実し、救急医療に力を入れていきます。

また、当院におきましては、リニアック・ガンナナイフ、陽子線治療を備えており、手術・化学療法もおこなっているため、がん治療にも、積極的に取り組んでいきます。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができなくなるかにより説明ください。

高度急性期及び重症急性期を中心とした医療を提供しながら、当院における回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟を利用して、自宅復帰を目指していきます。更に、訪問看護等をおこない自宅復帰された患者さんのフォローをおこなっていきます。

また、近隣の病院との連携強化を図り、すぐに自宅復帰できない患者さんをスムーズに転院できるようにし、急変等があった時のバックアップ病院としての機能を果たしていきます。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※連携病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにするようにご説明ください。

現在、協定等の契約を伴う具体的な取組みはおこなっておりません。

当院の回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟において、サブキューブの受入れをすべく、近隣の病院へ受入の案内をおこなっております。

※行が足りない場合は運時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

高井病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数		
一般病床	高度急性期	35	20	20	20	20
	急性期	164	234	250	86	86
療養病床	軽症	162	53	54	-108	-108
	回復期	50	51	52	2	2
療養病床	慢性期				0	0
	休養中 (今後再開する予定)				0	0
療養病床	休養中 (今後廃止する予定)				0	0
	(合計)	376	358	376	0	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は添紙、行を増やしてください。複数該当しても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	泌尿器、生殖器
化学療法の実施	対応している	対応していない
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	
今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・地域がん診療連携支援病院 当院においては、がん治療に対して、手術、化学療法と併せて、リニアック・ガン マナイフ・陽子線治療といった医療機器を備え、放射線治療に関しても力を入れて いる。また、予防医療としての、PETCT・マンモPETもあり、がんに関して、 トータル的に対応可能であり、今後は緩和のエリアを充実することにより、「奈良県 地域がん診療連携支援病院」の指定を目指し、がん治療に更に力を入れていく。	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	実施している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	実施している	対応していない
今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。	循環器内科、心臓血管外科と有し、循環器内科でのカテーテル治療においては、近 畿でもトップクラスの症例を実施しており、今後も、当院としては、心臓に関する 治療・救急対応に力を入れていく方向性である。	

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血(くも膜下出血を含む)への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない

・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 **参加している** ・参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院においては、「一次脳卒中センター」の認可を受けており、外科手術・血管内治療・t-PAによる治療を、24時間365日で対応可能です。

今後も、脳卒中に対して、治療・リハビリ共に、力を入れていく方向性です。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ **はい** **はい** **いいえ**
- 救急告示病院の指定を受けているか？ **はい** **はい** **いいえ**
- 大腿骨骨折への対応 **対応している** **参加していない**
- 病院群輪番制への参加 **参加している** **参加していない**
- 小児科病院二次輪番体制への参加 **参加している** **参加していない**

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院においては、心臓疾患、頭の疾患、外傷疾患を中心に、24時間365日での救急対応が可能である。更に、近隣病院における急変時の救急受入にも積極的に取り組みでいく方向性です。

今後も、救急には力を入れていくが、小児救急及び精神救急については、対応する事が難しいと考えている。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ **はい** **いいえ**
- 脳卒中中等循環器病への早期リハビリ **対応している** **対応していない**
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 **有り** (病床数=52床) **無し**
- 訪問リハビリの実施 **対応している** **対応していない**
- 通所リハビリの実施 **対応している** **対応していない**

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院においては、運動器リハビリ、呼吸器リハビリ、廃用症候群だけでなく、脳リハビリ、心臓リハビリにも力を入れており、心臓に関しては、院内のフィットネス施設を利用して、心臓リハビリの終了後の患者様に対しても運動のフォローをしている。

また、2021年12月1日からは、訪問リハビリを開始予定です。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？ **はい** **いいえ**
- 在宅療養支援病院の届出の有無 **有り** **無し**
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無 **有り** **無し**
- 訪問リハビリの実施（再掲） **対応している** **対応していない**

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

現在、対応できていませんが、2021年12月1日からは、訪問リハビリを開始する予定です。

ただし、急性期病院として、近隣の病院・医院・施設の後方支援として、急変時の救急受入は積極的にこなっております。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ **はい** **いいえ**
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ **はい** **いいえ**

(はいの場合 施設名称：)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

2021年12月1日より、訪問看護を開始予定です。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ **定めている** **定めていない**

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

現在、地域包括ケア病棟を有しており、上記、指針を定めている。

今後は、一般病床を含めた、病院全体で取組む予定。

⑩小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、院内での分娩に対応するため、小児科を開設している。
 今後も、分娩時の対応及び一般小児科外来をおこなっていく予定で、NICUや小児救急には対応しない予定。

⑪周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

今後も、通常分娩が中心ではあるが、地域の分娩施設として分娩をおこなっていく予定。

⑫災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMA T指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院において、災害医療を積極的にこなせるだけの人材が不足しており、現状では、今後の見込みもない。

⑬へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現状、人材不足のため、今後も、対応できる見込みがない。

⑭医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在は、協立型としての研修施設であるが、今後は、基幹型の臨床研修指定病院や専門研修の基幹施設を目指していきたい。

⑮新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在は、人材不足により軽症のみの対応となっている。
 今後も、重症対応可能な病院との連携をおこなっていきたい。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院の今後の役割、機能は、軽度急性期、回復期、慢性期機能を担う事と考えております。

当院の役割として、

i 高齢者の軽度～中等度の急性期患者の受け入れ（主に地域包括ケア病棟）

* 9割程度は介護施設や地域からのサブアキウトを直接受け入れておりますが、病床機能としては軽症急性期でなく回復期で届けております。

ii 急性期病院からの受け皿としての機能（地域包括ケアと回リハ病棟）

iii 自宅での生活が困難な患者の対応としての在宅機能（介護医療院）を考えております。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができり明らかなようご説明ください。

自院では高度急性期や重症急性期の患者には対応できないので、術後のリハビリや在宅や施設への退院困難な方の受け皿としての役割を担っていききたい。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできり明らかなようにご説明ください。

近隣の急性期病院との連携バスや腰痛サポート等の連携によりスムーズな受け入れを現在取り組んでいるが、今後は透析部門を充実し、自宅での透析が困難になった方の受け入れも積極的に取り組んでいきたい。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

奈良東病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数	
一般病床	高度急性期				0
	急性期				0
	重症				0
	軽症				0
	回復期	92	92	87	0
療養病床	慢性期	168	78	78	-90
	休養中				0
	(今後再開する予定)				0
介護病床	休養中				0
	(今後廃止する予定)				0
(合計)	260	170	165	-90	
精神病床					0
介護医療院		88	88	88	88

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を削りしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか? はい いいえ

手術の実施 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、生殖器等
 対応している 対応していない 対応している 対応していない

化学療法の実施 がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院
 放射線治療の実施 がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院
 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか? はい いいえ

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか? はい いいえ

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

当該領域について対応しているか? はい いいえ

救急告示病院の指定を受けているか? はい いいえ
 大腿骨折への対応 対応している 対応していない
 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・分娩の取扱い 対応している していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 参加していない
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ 参加していない
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ 参加していない
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 参加していない
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 参加していない
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ 参加していない
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ 参加していない
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ 参加していない
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ 参加していない
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ 参加していない
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ 参加していない

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=48床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 無し
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ 参加していない
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ 参加していない
- （はいの場合 施設名称：訪問看護ステーションひまわり2・ひまわり奈良・いずみ・ひまわり北之庄・ひまわり秋篠・ひまわり生駒・ひまわり香芝）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 参加していない
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

療養病床は慢性期患者を、回復期リハ病床はリハビリ対象患者を出来るだけ早期に受け入れる。

地域包括ケア病床では、ポストアキュートの退院支援を必要とする患者を迅速かつ適切に受け入れる

このことで急性期患者支援療養病床初期加を担う医療機関の病床確保に寄与する

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又はは縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

急性期を担う医療機関との連携強化をすすめる

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

現状は天理よろづ相談所病院(本院)との連携が始どである。
今後はまず東和医療圏で“顔のみえる”関係の構築に取り組みたい

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

公財) 天理よろづ相談所病院

白川分院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数		
一般病床	高度急性期	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0
	軽症	0	0	0	0	0
	回復期	50	50	50	50	0
療養病床	慢性期	50	50	50	50	0
	休養中	0	0	0	0	0
	(今後再開する予定)	0	0	0	0	0
	休養中 (今後廃止する予定)	0	0	0	0	0
	(合計)	100	100	100	100	0
精神病床		86	43	43	43	-43
介護医療院		0	0	0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能部小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、生殖器	対応していない
化学療法の実施	対応している	対応していない
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能部小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能部小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能部小、機能廃止等）について記入してください。

早期の受け入れと早期の退院を目指す

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝50床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

早期の受け入れと早期の退院を目指す

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

地域包括ケア病床との連携を更に強化する
退院支援に在宅訪問診療の選択肢を提示していく

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称： _____)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

ある程度の指針はあるが十分ではない
個々の状況が多様であるため画一化することは難しいが必要最低限の指針を明確にする必要がある

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の充て込みや広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱いは 対応していない 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定は していない している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

感染症治療後の退院支援を目的とした受け入れを強化したい

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

慢性期でなお療養を要する患者に対する医療、および比較的軽症の急性期患者に対する医療を行う。訪問診療も行っている。
従って、それに見合う機能を維持していく。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができれば、相手方が明らかなようになるようご説明ください。

従来通り、高度および緊急医療は担わなく、将来的にも担う予定はない。
従って、現在の機能の変更はない。人口の減少が進み、医療需要が減少すれば、それに従って医療機能の縮小を行う。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかなるようにご説明ください。

高度および緊急を要する医療は、これからも天理よろづ相談所病院様および高井病院様へ紹介する予定。
病診・病病連携は、地区医師会での連携協議会にて取り組んでいる。具体的には、高度医療を要する場合は天理よろづ相談所病院様へ、緊急医療は高井病院様へ依頼している。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です

高宮病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度> (a)許可病床数		<R3年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	高度急性期	重症 軽症	回復期	慢性期 休養中 (今後再開する予定) 休養中 (今後廃止する予定)	(合計)	(b-a)
一般病床						0
療養病床			40	40	40	0
						0
						0
						0
						0
						0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を取扱った時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
※選抜表については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を期やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？ はい

手術の実施 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、生殖器
対応している 対応していない

化学療法の実施 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
対応している 対応していない

放射線治療の実施 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
対応している 対応していない

拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？ はい

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？ はい

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない

脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない

開頭血腫除去術 対応している 対応していない

脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない

血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない

脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない

奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在、院内および訪問でのリハビリについて対応・実施している。今後この状況を維持していく予定であり、また必要に応じて他の医療機関との連携を図っていく予定。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在、当院のかかりつけの患者様、また近隣の介護施設入居者に対して訪問診療を行っている。今後も現状を維持していく予定。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- (はいの場合 施設名称:)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院は慢性期医療を提供していることから、終末期等の患者様もみられるため、指針を定めており、指針に基づいて本人・ご家族と相談等をしながら取組を行っている。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在、当院の規模や設備の観点からEMISのみの参加をしている状況であり、今後変更等はない。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

地域密着型の医療機関として、かかりつけの患者様の発熱時に対応できるよう発熱外来の認定を受けており、抗原検査のみ実施している。検査結果が陽性と出た場合には、保健所へ連絡の上、適切にその後の医療が受けられるよう調整を行っている。

また、当院の設備やマンパワーの観点から、感染患者の入院受入れは難しいため、今後も、発熱外来のみの対応となる予定。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当センターは昭和63年6月の開設以来、心身障害者(児)の社会自立を促進するために、医療福祉を担う県の中核施設として、同一建物に併設の福祉、教育、行政の関係機関や地域の医療機関と連携しながらその役割を果たしている。

具体的には、

- ・脳血管障害や頭部外傷、脳炎等による高次脳機能障害に対して生活能力向上をめざした訓練や身体機能回復を目指したリハビリ訓練の実施
 - ・奈良県の障害者(児)や高齢者の整形外科手術をはじめとした急性期医療及び在宅療養生活を継続できるよう慢性期医療の実施
 - ・小児科では子どもの様々な発達障害・知的障害・運動障害・自閉症スペクトラム障害・構音障害などの診断・治療と各種の訓練・療育の相談を実施し、学齢期後も引き続き精神科の児童思春期外来で治療を継続
- 以上をさらに強化し、心身障害者(児)の社会自立に貢献する。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときはあらかじめご説明ください。

整形外科領域における障害者(児)の急性期医療を継続し、術後にリハビリを必要とする患者を主たる対象とするため、地域一般病棟の3階病棟50床を26床に縮小し、24床を回復期リハビリ病棟として機能転換することにより、リハビリ機能の充実を図った。(令和元年11月1日実施済)

(3) (2)を進めるため、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

- ・奈良県立病院機構内の病院や地域の病院、診療所からの紹介・逆紹介の増加
- ・近隣の障害者施設等からの骨折等の治療を積極的に受け入れ
- ・介護支援専門員や相談支援専門員と連携し、重症心身障害者への支援の実施するため、医療型短期入所サービスを開始(令和2年5月1日開始)
- ・「なら地域医療連携実務者協議会」に加盟し、各病床機能に応じた患者紹介が円滑に進むよう連携を強化
- ・地域で発達障害児への対応力を強化するため、奈良県社会福祉事業団が実施する「子ども地域支援事業」へ作業療法士を派遣し、保育園・幼稚園・小学校の職員(保育士・教員等)へ指導助言を引き続き行い地域と連携

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

奈良県総合リハビリテーション

センター

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来 (R7/2025年度)	(b-a) (H28年度からの増減)
	(a) 許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数		
一般病床	高度急性期					0
	急性期					0
療養病床	重症					0
	軽症	50	0			-50
療養病床	回復期	50	100	100	100	50
	慢性期					0
療養病床	休養中 (今後再開する予定)					0
	休養中 (今後廃止する予定)					0
	(合計)	100	100	100	100	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

※選択度については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は、適時、行を追加してください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？ はい いいえ

手術の実施 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、生殖器 いいえ

化学療法の実施 対応している 対応していない

放射線治療の実施 対応している 対応していない

拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？ はい いいえ

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？ はい いいえ

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない

脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない

開頭血腫除去術 対応している 対応していない

脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない

血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない

脳血管疾患等への早期リハビリの実施 参加している 参加していない

奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

奈良県脳卒中地域連携パスへ引き続き参加し、脳卒中患者のリハビリを早期に実施

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい
- 大腿骨骨折への対応 参加している
- 病院群輪番制への参加 参加している
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

近隣の障害者施設等からの骨折等、整形外科領域の患者を積極的に受け入れ

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝74床）
- 訪問リハビリの実施 対応していない
- 通所リハビリの実施 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

脳卒中、外傷、難病、高次脳機能障害等の患者に対するリハビリを中心とした医療の提供と共に、子どもの発達障害・知的障害・運動障害・自閉症スペクトラム障害・構音障害などの診断・治療と各種の訓練・療育の相談を今後も継続

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 在宅療養支援病院の届出の有無 有り
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい

（はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針1」）を定めているか？ 定めている
- 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加(再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能拡小、機能廃止等)について記入してください。
 肢体不自由や発達障害、吃音、嚥下困難等に関する小児リハビリの充実

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・へき地医療拠点病棟の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能拡小、機能廃止等)について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・分娩の取扱 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能拡小、機能廃止等)について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・災害拠点病棟の指定を受けているか? はい いいえ
- ・DMAT指定病棟の指定を受けているか? はい いいえ
- ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能拡小、機能廃止等)について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能(臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・遷移型臨床研修病棟の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能拡小、機能廃止等)について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか? (重点医療機関か?) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能拡小、機能廃止等)について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院の構成4町(川西町、三宅町、田原本町、広陵町)には急性期機能や救急に対応できる病院がないことや東和地区医療圏の状況を踏まえ、地域での当院の基本的な役割としては地域の中核病院として急性期や救急疾患に対応することです。これらは公立病院に期待されている救急医療や小児医療などの不採算部門における医療の提供と合致するものです。救急に関しては桜井地区病院群輪番参加、重症感染症センターの設置、中南和地区の小児2次救急輪番参加などで積極的に救急医療に対応しています。特に小児科では豊富なマンパワーのもと、診療所からの日中、夜間の紹介や救急搬送など、感染症を中心とした急性疾患の入院を多教受け入れています。また、最近増加している食物アレルギーなどのアレルギー性疾患でも中南和の基幹的な役割を果たしており、令和2年4月に小児アレルギーセンターを設置し、小児アレルギー専門医を中心に、看護師を主として資格を取得した小児アレルギーエディキューター(PAE)、栄養士、薬剤師などとチームをつくり、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、喘息などのアレルギー疾患を包括的に取り扱い、診療、教育、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、喘息などのアレルギー疾患を包括的に取り扱い、診療、教育、相談などを行っています。

以上のことから、当初は病床機能報告では220床すべてを急性期で報告していました。しかし、地域包括ケアシステムの構築にむけて、また東和地区での急性期病床の過剰を受けて、さらに地域で高齢者の肺炎や骨折などリハビリが必要となる患者が増えることに対応するために、平成26年8月から1病棟50床を地域包括ケア病棟といたしました。この病棟は、在宅復帰に向けてのリハビリ強化や準備期間として有効活用されています。また、在宅復帰を支援していく目的で令和2年度から訪問看護ステーションを本格稼働しています。さらに登録していただいた在宅患者の急変時には、いつでも緊急入院できる在宅後方支援の体制も構築しています。したがってその病床機能を総合的に判断して平成28年度からはこの病棟を急性期から回復期へと変更して報告しています。

新型コロナウイルス感染症への対応に関しては、令和3年1月から感染確定患者の受け入れを開始し重点医療機関となりました。6床からスタートし、県からの要請もあり、4月には9床、11月には12床に増床しています。病棟は地域包括ケア病棟を一時閉鎖しコロナ感染症病棟としていますが、11月現在で148名(延べ患者数1309名)の軽症から中等症までの患者を受け入れています。その45%が小児であることも当該の特徴となっています。

病院全体としては病床機能報告を用いた急性期機能の評価によりますますやはり急性期が主体の病院であると判断されています。

以上のことから、当院は本来的には急性期病床を主体としながらも、一部回復期の役割をもつことによって地域包括ケアシステムに貢献できると考えています。したがって、今年の病床機能報告ではHCUの4床と2病棟を重症急性期、残りの2病棟を軽症急性期、地域包括ケア病棟50床を回復期と報告しました。さらにこの急性期病棟を重症から軽症まで一部回復期の意味合いを持たせた柔軟な病床とします。

今後、当院はその病床数、診療科目数、常勤医師数などから判断し、急性期病床から地域包括ケア病棟の回復期まで在宅支援を含む地域の「めんどろみみのよい病院」を目指していきます。

国保中央病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。
 当院の内科、外科の医師が消化器病専門であることから上部・下部消化器疾患ならびに肝胆膵疾患に対する診療に重点をおいています。したがって消化器病センターや重症腹症ネットワークなどの腹部救急に力を入れ、消化器系疾患を対象に高度な医療を今後提供してまいります。しかし、救急における循環器疾患や脳卒中などは専門の常勤医師がいないために基本的に対応できていないのが現状です。
 小児救急に関しては豊富な医師マンパワーの下、中南部の2次救急輸送を数多く担当しており、県下で最も多くの救急患者を受け入れています。病院小児科が減る中、今後とも小児救急に貢献できるように力を入れていくつもりです。
 また、当院の特徴のひとつでもある県内唯一の独立型の緩和ケア病棟を有する病院として、県内そして近隣府県の医療機関から紹介されたがん患者への緩和医療の提供を行ってまいります。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。
 救急に関しては、以前より内科系・外科系の桜井地区輸送が5病院で運営されており、当院も医師のマンパワー不足があるものの今後もしっかりと維持してまいります。
 循環器疾患や脳卒中に関しては常勤医師がいないことから近隣の病院に紹介してまいります。
 中南部の小児2次輸送に関しては、今後病院小児科が復活するところがあればぜひ参加を要請したい。
 また、当院の立地が東和地区の西の端にあることから患者の流れからも東和地区だけでなく中和や西和地区の病院との連携も今後必要になると考えます。
 桜井地区で当院、済生会中和病院、医師会の医療機関との間でICTを用いた地域医療連携ネットワークが構築されており、参加施設数は現在57医療機関で登録患者数は累計で3600件を超え順調に増加しています。今後さらにネットワークを広げるために努力をしてまいります。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。種数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度、R25年度の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度> (a)許可病床数		<R3年度> 許可病床数	最大使用病床数	(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) (25年度からの増減)
	高度急性期	4				
一般病床	重症	97	101	88	101	4
	軽症	69	69	64	69	0
療養病床	回復期	50	50	50	50	0
	慢性期					0
療養病床	休養中 (今後再開する予定)					0
	休養中 (今後廃止する予定)					0
	(合計)	220	220	202	220	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を削やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 手術の実施 肺、呼吸器 はい いいえ
- 化学療法の実施 消化器 はい いいえ
- 放射線治療の実施 泌尿器 はい いいえ
- 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院 地域がん診療病院 はい いいえ
- がん診療連携拠点病院 地域がん診療病院 はい いいえ
- がん診療連携拠点病院 地域がん診療病院 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 はい いいえ
- 心疾患に対する外科手術の実施 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 はい いいえ
- 脳動脈クリッピング術 はい いいえ
- 開頭血腫除去術 はい いいえ
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 はい いいえ
- 血栓除去術等の脳血管内手術 はい いいえ
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 はい いいえ
- 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 はい いいえ
- 病院群輪番制への参加 はい いいえ
- 小児科病院二次輪番体制への参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

桜井地区輪番制や重症腰痛ネットワークに参加し、小児に関しては中南和小児科二次救急輪番体制に参加しており、今後も維持していく予定である。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中中等循環器病への早期リハビリ はい いいえ
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 はい いいえ
- 訪問リハビリの実施 はい いいえ
- 通所リハビリの実施 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無 あり 無し
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無 あり 無し
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 小児入院医療管理料の算定 している していない
- 新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

小児医療は、急性期医療（救急を含む）だけでなく慢性疾患（アレルギー疾患、けいれん性疾患、腎疾患、内分泌・代謝疾患）の診療にも力を入れている。

⑦訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合）施設名称：国保中央病院訪問看護ステーション

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

訪問看護の需要が増えてきており、今後も規模を拡大し対応していく予定である。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

奈良県立医科大学付属病院や西和医療センターからの研修医を受け入れている。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

現在、地域包括ケア病棟をコロナ病棟としているが、収束した場合には地域包括ケア病棟に戻す予定である。今後また新興感染症の拡大時には再び感染症病棟としての機能を果たせるように準備を整えておく。

